

農業の持続性保持へ

県JA大会、基本方針決定



農業の持続性保持に向けて結束を呼びかける櫻井宏JA岐阜中央会会長(左)＝羽島市竹鼻町丸の内不二羽島文化センター＝

県JAグループは21日、3年に1度の県JA大会を羽島市竹鼻町丸の内不二羽島文化センターで開き、農業の持続性保持に向け、来年度から3年間の基本方針を決めた。

JAグループの役員ら約500人が出席。大会長の櫻井宏JA岐阜中央会会長は、人口減や高齢化で農業の基盤が縮小する中で持続性を保つための取り組みが不可欠と指摘し「地域住民との関係強化に取り組み、力を合わせて協同組合

としての役割を発揮することにより全力を尽くしていきたい」とあいさつした。

基本方針には「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力の発揮」を掲げた。目指す姿の3本柱として▽次世代につなぐ持続可能な農業の実現▽食と農を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献▽持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化」を据えた。

(山田俊介)